

中野市美術品取得選定評価委員会 てん末書

新型コロナウイルス感染予防のため、招集せず、書面表決書の提出をもって協議を行いました。

1 件 名	令和4年度 第1回中野市美術品取得選定評価委員会
2 年 月 日	(書面表決書の全員提出日) 令和5年2月6日(月)
3 委 員 名	金井徳重委員長、竹内真澄委員長職務代理、渡辺博委員、春原功委員、神田仁子委員(以上5名)
4 協 議 結 果	<p>第41回礫珉展市長賞作品の購入について</p> <p>全委員賛成により、次のとおり購入適当と決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入作品 阿部 賢二 作 「外<small>はず</small>された<small>きんぞく</small>金属<small>とびら</small>の扉」(油彩・F50号) ・購入金額 120,000円(例年と同額) <div style="text-align: center;">  </div> <p>【参考】佐藤倉由氏(礫珉展審査委員長)講評</p> <p>四角い画面の大半の面に四角い鉄の扉がドンと描かれている。まさに大胆な構図である。扉は単なる平面でなく色の塗り重ねにより金属の質感が出てマチュールと共に美しい。ハンドルや取手は絵に動きと柔らかさを加えながら、抜群の存在感となった。</p> <p>また、委員からは、今までに購入した作品をまとめて展示・鑑賞できる場所(美術館)がほしいとのご意見があった。</p>